



2024（令和6）年度

二 中 だ よ り



第5号

2024（令和6）年5月2日 発行責任者 加賀谷 登

「いってきます」と「いってらっしゃい」 5月1日（水）全校集会の校長講話より

今日は「いってきます」と「いってらっしゃい」という言葉について話をします。もともとは「行って参ります」と言っていたそうです。それが明治くらいから「行って来ます」と言うようになったのですが、日本人は古くからこの言葉を大切に使っていました。正しくは「行って来ます」と書くのですが、実は「行って」と「来ます」の間に、ある言葉が省略されています。

どんな言葉が省略されているかというと、「行きます（が、必ず帰って）来ます。」という言葉です。江戸時代には「行って参ります」という形式的な言葉が使われていたことから、昔は旅をすること自体が命がけでした。夜道を歩くことも命がけだったので、「行って参ります」と言うことで、大切な人に対して「必ず帰ってくる」という誓いをたてていたのでしょう。ですから「いってきます」という言葉も、必ず帰ってくるという**誓いの意味**があるのです。

「行ってきます」という言葉が省略されているということは、送り出す側の「行ってらっしゃい」という言葉も省略されていると考えられます。「行きます（が、必ず帰って）来ます。」に対してどう答えるかということ「（無事に行って、帰っていらっしゃい）」ですね。「いってらっしゃい（無事に行って、帰っていらっしゃい）」ということで、相手の誓いに対して**祈り**のような想いを重ねたのでしょう。

このように「行ってきます」「行ってらっしゃい」という言葉は、**大切な人との再会を願う「誓い」と「祈り」の気持ちと、今一緒にいられることの大切さ**を教えてくれているのです。

それから「行ってきます」「行ってらっしゃい」という定型句があるのは日本語だけだそうです。これからも大切にしていきたいものです。

金曜日からは、大型連休後半が始まります。この言葉を意識して過ごしてみましょう。

授業参観お世話になりました！ 4月26日（金）



1年1組
学級目標を決めよう



1年2組
学級目標を決めよう



2年1組
一年の目標を考えよう



2年2組
学級目標を考えよう



3年1組
進路について
—より良い進路に向け
て考えよう—



3年2組
より良い将来に向けて
—高校選びについて
考えよう—

今年初めての授業参観いかがでしたでしょうか。1年生と2年生は、今年一年間の学級目標を考えました。3年生は、受検を控えて、より良い進路選択についての授業でした。

一年が終わるところになると、「一年が過ぎるの早かったなあ」と、ほとんどの人が実感します。その時になって一年を振り返ってみて、一年の目標を忘れていたり、全く気にしていなかったりした自分に気がつきます。今年は、年度当初に立てた目標を忘れることなく、頑張ってもらいたいと思います。3年生のみなさんは、この授業で考えた「進路選択」を、しっかりと生かしてください。